

# 夢窓幼稚園通信第54号

2021年1月8日



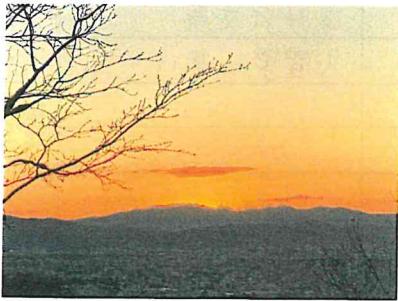
あけましておめでとうございます

新しい年をそれぞれらしく迎えられる  
ことでしょう。

また、こうして顔を合わせて共に社会の  
未来を思い描き、私たちの生き方を通して 夢見ることができるのは、  
何というよろこびでしょう！

今年も どうぞ よろしくお祈りします。

新年 早々、ちょうちょうぐみとばらぐみとの間の小さな花壇の  
「リョウのひげ」に、青紫色の実が今年もできているのを見つけ  
ました。ひとつふたつですが、その小さな実が 今年の希望の  
ひとつの印のようを気もしてうれしかったです。



元旦のおひさまも まあろく昇ってきました。  
いつもと変わらない「日出ずる」というこの  
毎日の印も どれだけ私たちを励まして  
くれていることでしょう。  
ウイルスではない、おひさまコロナの輝きに  
支えられ、今年一年が まあろく成就することを  
願いました。

丑の特徴に反芻があるなら、この年の  
ひとつの生き方のモデルは、「よく噛み 味わって、  
そのことを通して 自ずとつむがれ 醸し出さ  
れるのを待つ」というところでしょうか。

リョウのひげの花言葉は、「変わらぬ想い、  
不変の心、深い思いやり」だそうです。

今年も大変な状況が始まりの時からありますが  
大切にしたいことは 変わることなく思い抱き、  
そして森羅万象を私たちの内なることとして  
受けとめて、そこから生まれるものを 未来の  
ゆたかさにつなげるものと信じて、共に通して  
いければと思っています。

園長 升光 泰雄